

集落全体で水稲の共同防除に取り組む

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛媛県上 <small>かみうけなくんく</small> 浮穴郡久万高原町 <small>まこうげんちよう</small> 直瀬段 <small>なおせだん</small>			
協定面積 27.4ha	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
	米・トマト・ピーマン			
交付金額 575万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	役員報酬		5%
		道・水路管理費		10%
		農地管理費		21%
その他		14%		
協定参加者	農業者 42人			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

当集落は、昭和 40 年頃から基盤整備に取り組み、町の中では生産条件に恵まれた地域である。整備された農地では、水稲や野菜の栽培が盛んで、また、認定農業者も多く、最も進んだ地域である。

しかしながら、作物価格の低迷、農薬飛散への対応など新たな課題が発生していた。こうした中、当集落内で、今後の対応策を検討した結果、共同防除の実施によるコスト削減と適期防除による減農薬栽培に取り組むこととなり、基盤整備された水田を中心に協定締結が行われた。

3. 取組の内容

集落の担い手が共同購入した防除機を活用することで、計画的に作業を行うことができるようになり、集落内の水稲 21ha 全てで適期に防除を行った。なお、農薬の選定や時期は関係機関の指導のもと行っている。



【集落状況】



【共同防除活動】

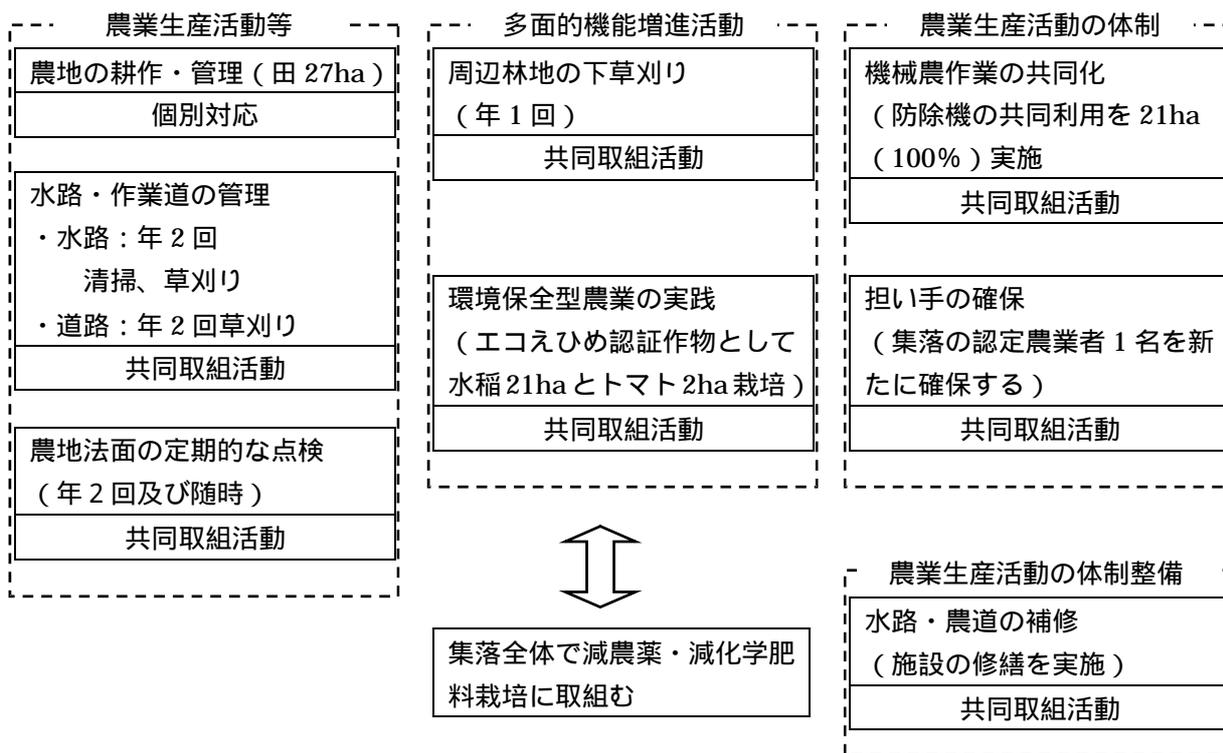
[集落の将来像]

集落全員参加による農業生産活動を行うことで現在の農業者が元気で活気に満ちた農業経営を展開することが可能となる。そして親の農作業を手伝いながら経験を積むことで自然と将来の担い手を確保する。



[将来像を実現するための活動目標]

減農薬・減化学肥料栽培による水稲、夏秋トマトを生産する等、集落を挙げて高付加価値型農業に取り組む。



4 . 今後の課題等

集落外から防除作業に対する要望が寄せられる等、活動が認められている。また、水路、農道を再整備よることにより高齢者の協力が得られやすくなった。

しかし、今後さらに高齢化が進行する中、維持活動に多大な支障をきたすことが心配されるため、これからは、新たな担い手を確保することが最も重要な活動と思われる。

[第 2 期対策の主な成果]

農業基盤整備の実施 (耐久性畦畔の実施 L = 4,491m)
 有機減農薬栽培の取組み (集落一括購入の実施 A = 22ha)
 認定農業者の確保 (1名確保)